

令和4年の相模原市の自殺に関する統計について

この度、神奈川県警察本部から令和4年（令和4年1月から同年12月まで）における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況を別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

なお、今回の統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

統計の主な内容（詳細は、別紙統計資料をご覧ください。）

- 令和4年における市内の自殺者数は、125人となっている。
- 年代別では、50歳代が最も多い。
- 男女別では、男性が62.4%を占め、40歳代、60歳代及び70歳代では、男性が70%以上を占めている。
- 職業別では、無職者が52.8%と最も多い。
- 原因・動機別では、健康問題が最も多く、次いで家庭問題の順となっている。
- 自殺者の24.8%に自殺未遂歴がある。

令和4年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から令和4年(令和4年1月から同年12月まで)の自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、相模原市分の集計・分析を行ったので、その結果を報告する。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年代別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

※ 割合(%)については小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

令和4年の相模原市内の自殺者数は、前年から20人増加し、125人となった。自殺死亡率は、前年から2.7ポイント増加した。また、5年平均の自殺死亡率の推移では、前年の5年平均から0.1ポイント増加となっている(表1, 表2, 図1)。

< 表1. 自殺者数・自殺死亡率の推移 >

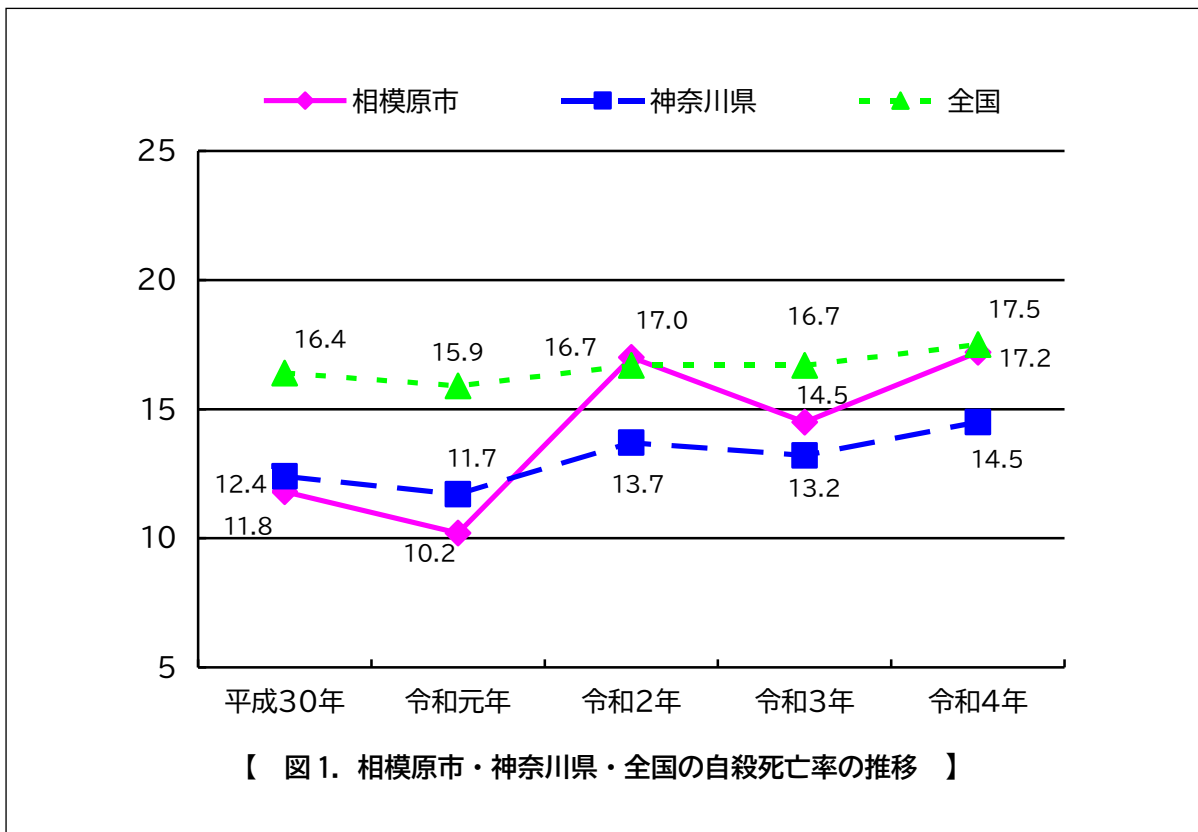
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
相模原市自殺者数(人)	85	74	123	105	125
相模原市自殺死亡率	11.8	10.2	17.0	14.5	17.2
神奈川県自殺者数(人)	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337
神奈川県自殺死亡率	12.4	11.7	13.7	13.2	14.5
全国自殺者数(人)	20,840	20,169	21,081	21,007	21,881
全国自殺死亡率	16.4	15.9	16.7	16.7	17.5

※自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数

※全国の自殺者数及び自殺死亡率は、毎年3月発表の厚生労働省資料から抜粋

< 表2. 自殺死亡率の推移(5年平均) >

	平成26-30年	平成27-令和元年	平成28-令和2年	平成29-令和3年	平成30-令和4年
相模原市自殺死亡率	15.0	13.7	13.7	14.0	14.1



2 自殺者の年代別・男女別状況

令和4年の年代別自殺者数は、50歳代が31人で全体の24.8%と最も多くなっている(表3)。

男女別自殺者数の割合は、男性が62.4%を占めている(表4)。

男性は50歳代が最も多く19人、女性も50歳代が最も多く12人となっている(図2, 図3)。

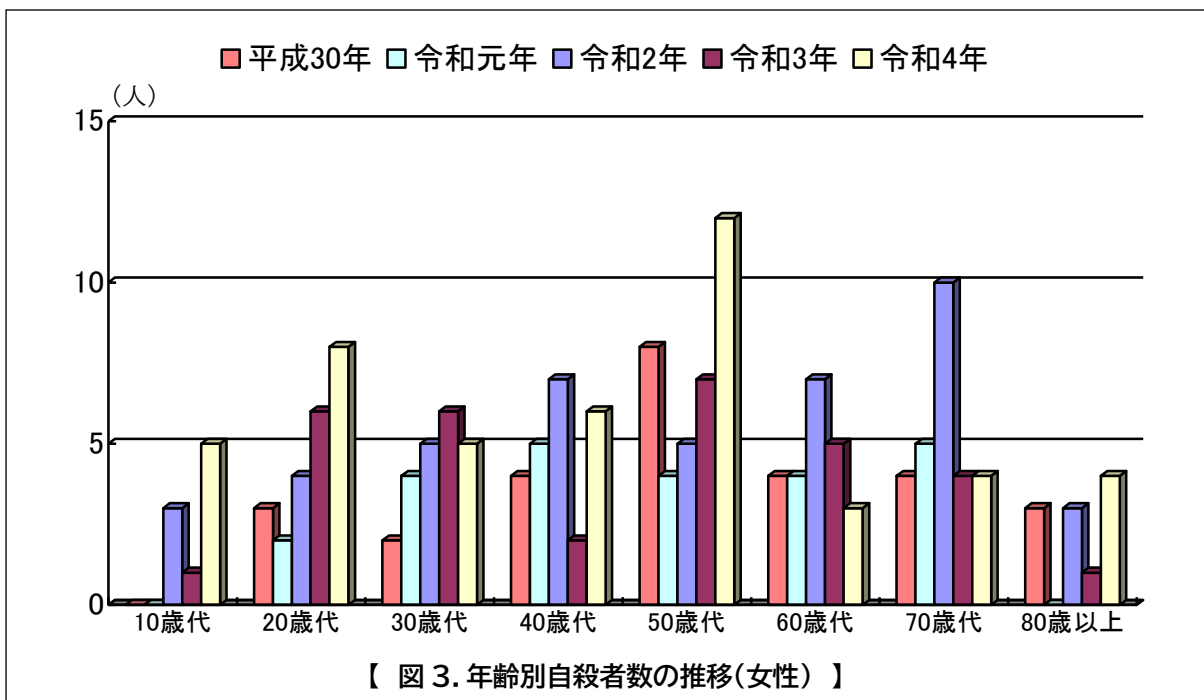
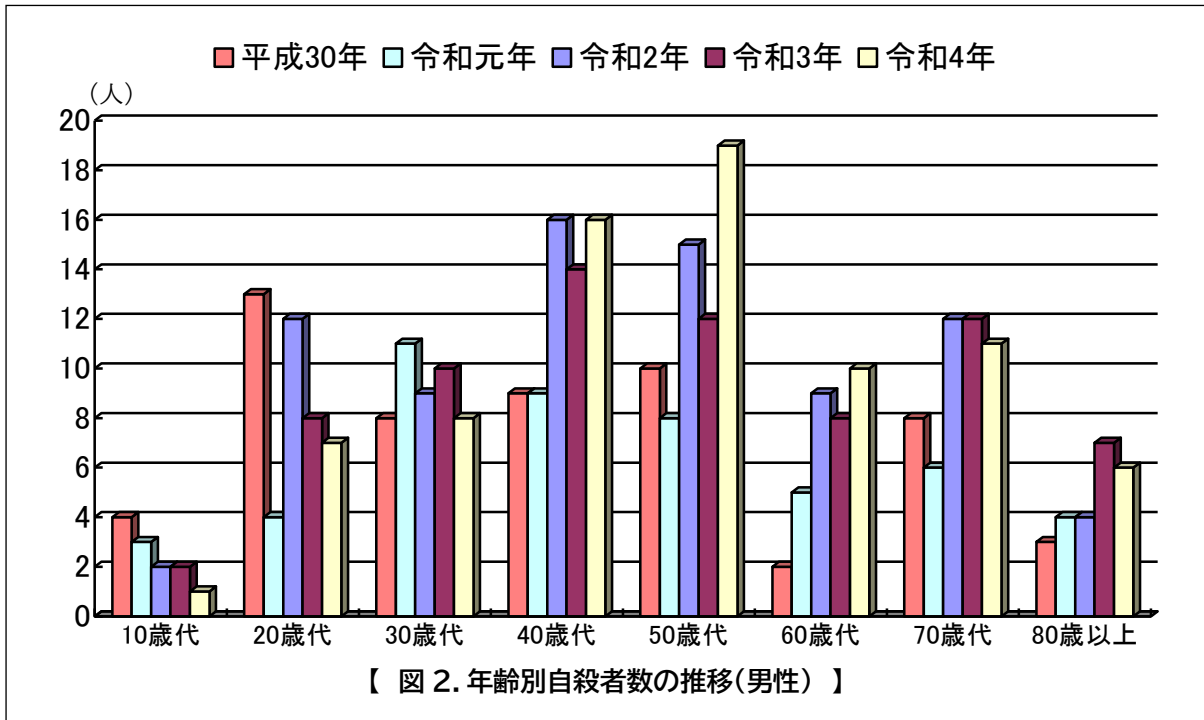
年代別男女別自殺者の割合は、10歳代と20歳代の若い年代で女性が男性を上回っており、30歳代以降の全ての年代において男性が上回っている(図4)。

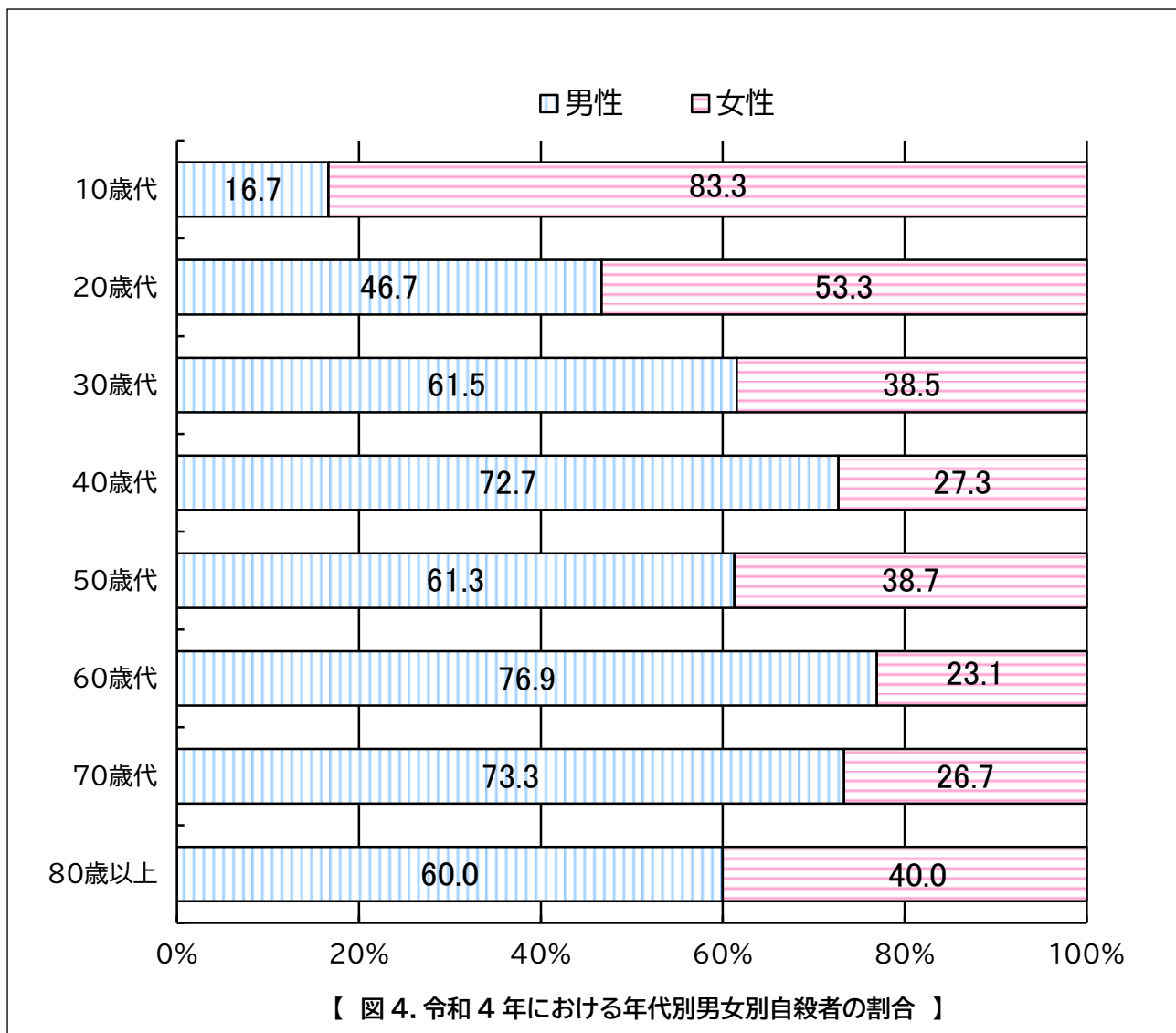
< 表 3. 年代別自殺者数と割合 >

	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	自殺者数	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
10歳代	4	4.7	3	4.1	5	4.1	3	2.9	6	4.8
20歳代	16	18.8	6	8.1	16	13.0	14	13.3	15	12.0
30歳代	10	11.8	15	20.3	14	11.4	16	15.2	13	10.4
40歳代	13	15.3	14	18.9	23	18.7	16	15.2	22	17.6
50歳代	18	21.1	12	16.2	20	16.3	19	18.1	31	24.8
60歳代	6	7.1	9	12.2	16	13.0	13	12.4	13	10.4
70歳代	12	14.1	11	14.9	22	17.9	16	15.2	15	12.0
80歳以	6	7.1	4	5.4	7	5.7	8	7.6	10	8.0
総計	85	100	74	100	123	100	105	100	125	100

< 表 4. 男女別自殺者数と割合 >

	平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
男性	57	67.1	50	67.6	79	64.2	73	69.5	78	62.4
女性	28	32.9	24	32.4	44	35.8	32	30.5	47	37.6
総計	85	100	74	100	123	100	105	100	125	100





3 自殺者の職業別状況

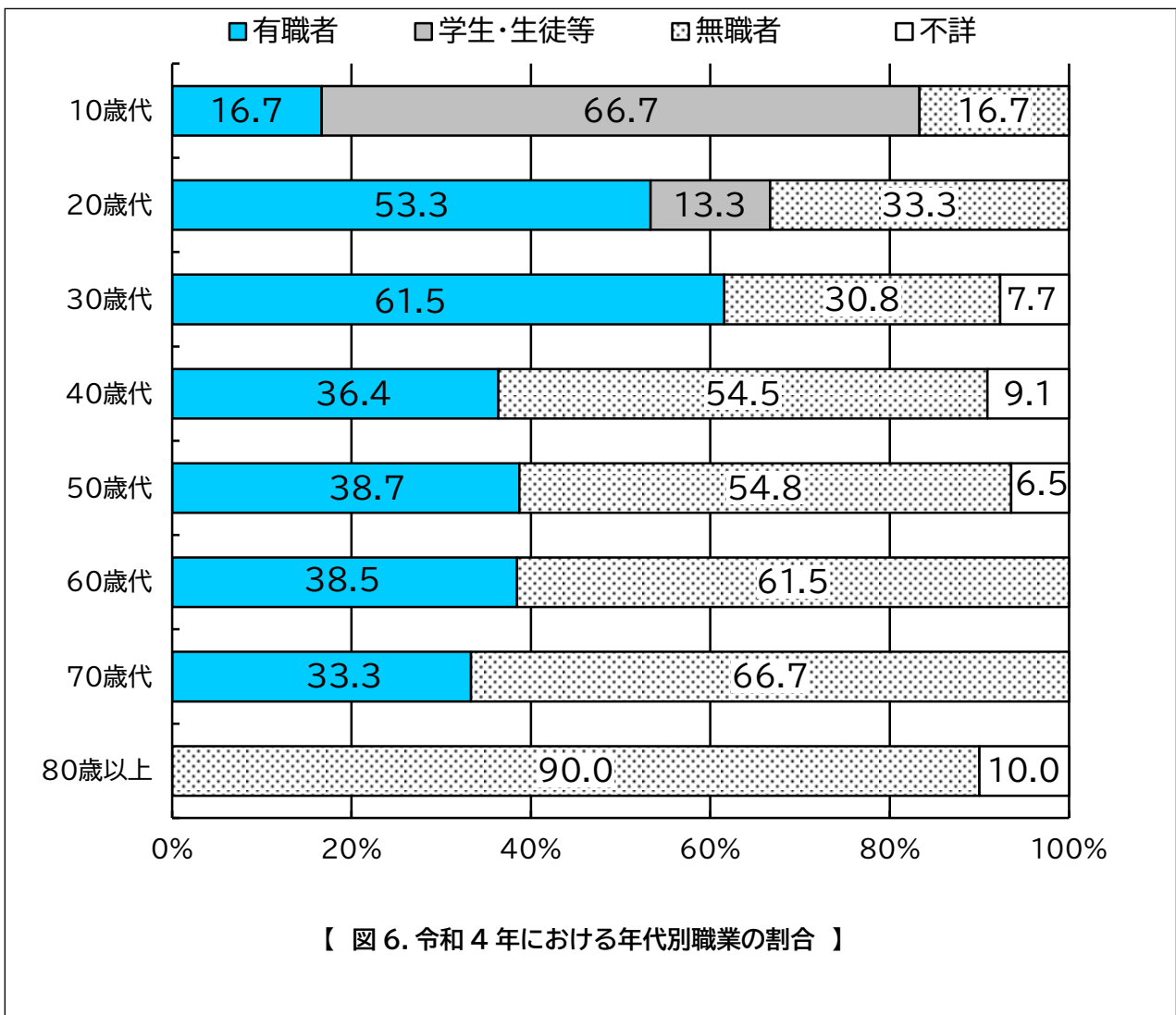
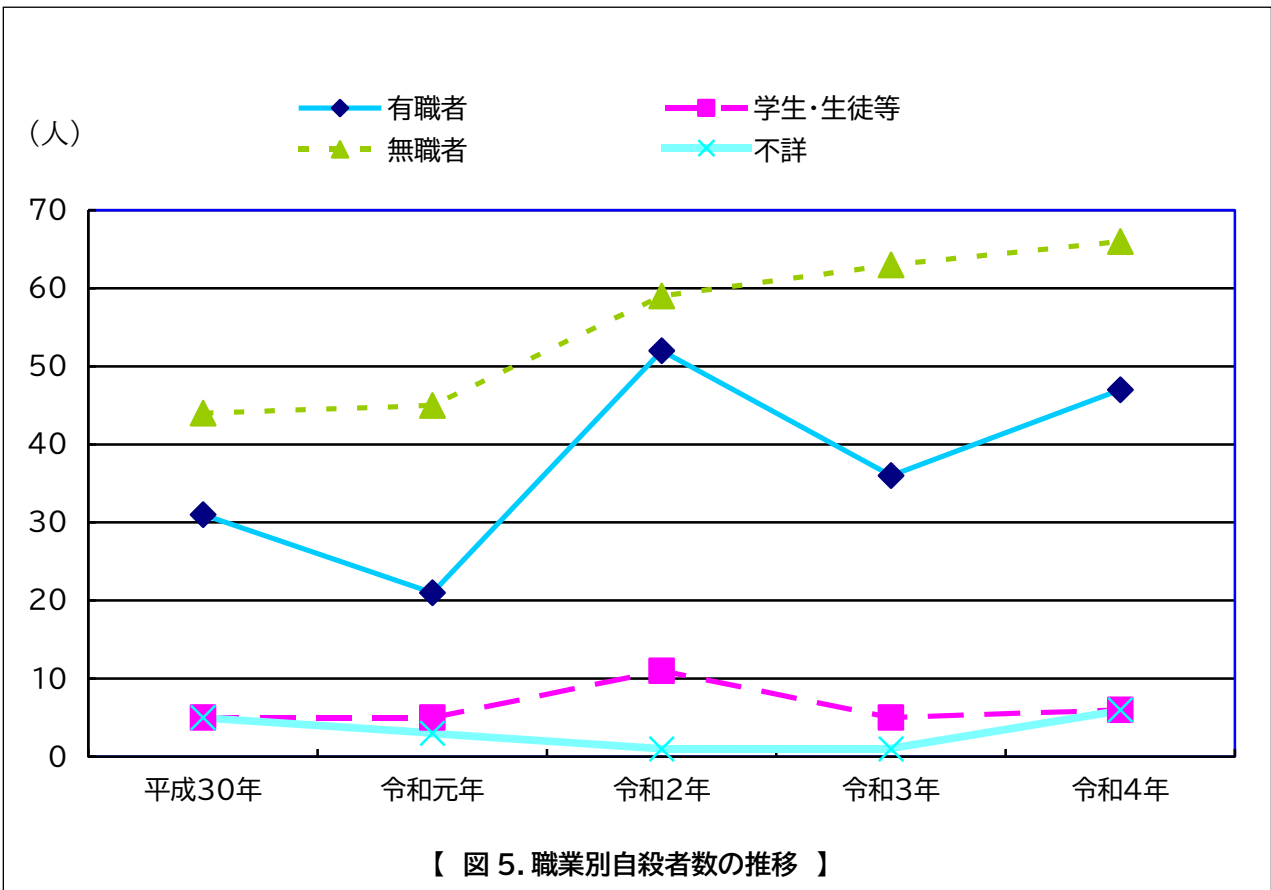
令和 4 年の自殺者の職業別状況は、「無職者」が 66 人で全体の 52.8% を占めている(表 5, 図 5)。年代別職業の割合は、30 歳代が「有職者」の割合が高くなっている(図 6)。

< 表 5. 職業別自殺者数と割合 >

	平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
有職者	31	36.5	21	28.4	52	42.3	36	34.3	47	37.6
学生・生徒等	5	5.9	5	6.8	11	8.9	5	4.8	6	4.8
無職者	44	51.8	45	60.8	59	48.0	63	60.0	66	52.8
不詳	5	5.9	3	4.1	1	0.8	1	1.0	6	4.8
総計	85	100	74	100	123	100	105	100	125	100

※自殺の職業における「有職者」に関して、令和 3 年までは「自営業者」と「被雇用者・勤め人」と分けていたが、令和 4 年からは「有職者」としている。

※無職者には、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金受給者、雇用保険受給者、生活保護受給者、ホームレス、その他の無職者等が含まれる。



4 自殺の原因・動機

令和4年の原因・動機別の自殺者の割合は、「不詳」を除くと、「健康問題」36.6%、「家庭問題」16.4%、「経済・生活問題」13.1%の順で高くなっている(表6, 図7, 図8)。年代別では、「不詳」を除くと、30歳代では、「家庭問題」が第1位で、その他の全ての年代で「健康問題」が第1位となっている(表7)。

職業別では、「不詳」を除くと、「有職者」「無職者」で「健康問題」が多い(図9)。無職者のうち、「失業者」では「経済・生活問題」も多かった(図10)。

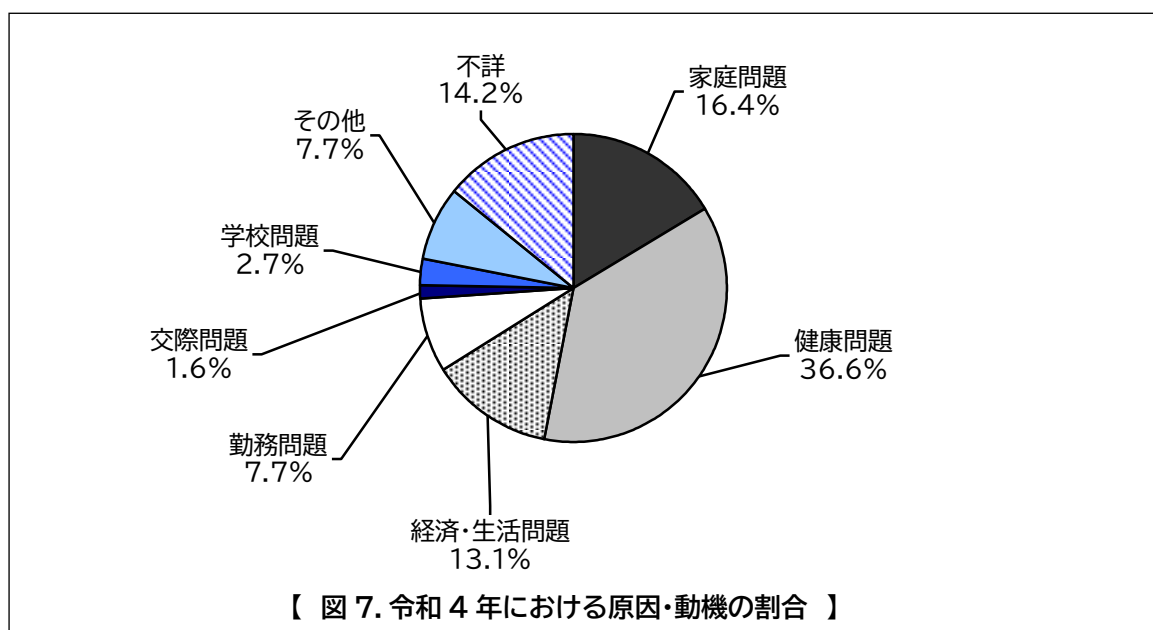
原因・動機の判断材料としては、自殺者の52.4%が「その他の生前の言動、家族等の証言」で判断材料を残している(表8)。

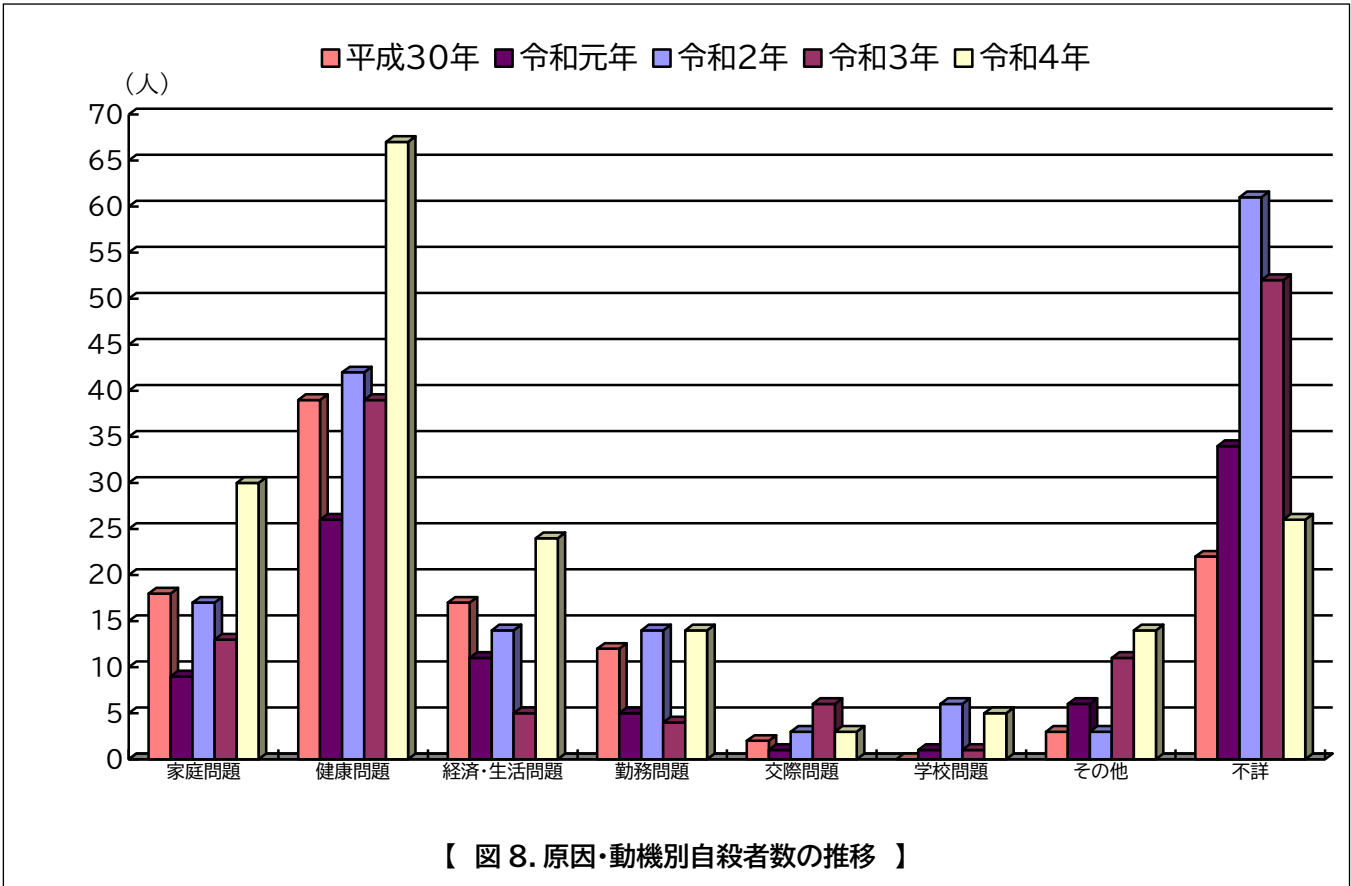
< 表6. 原因・動機別自殺者数と割合 >

	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
家庭問題	18	15.9	9	9.7	17	10.6	13	9.9	30	16.4
健康問題	39	34.5	26	28.0	42	26.3	39	29.8	67	36.6
経済・生活問題	17	15.0	11	11.8	14	8.8	5	3.8	24	13.1
勤務問題	12	10.6	5	5.4	14	8.8	4	3.1	14	7.7
男女(交際)問題	2	1.8	1	1.1	3	1.9	6	4.6	3	1.6
学校問題	0	0.0	1	1.1	6	3.8	1	0.8	5	2.7
その他	3	2.7	6	6.5	3	1.9	11	8.4	14	7.7
不詳	22	19.5	34	36.6	61	38.1	52	39.7	26	14.2
総計	113	100	93	100	160	100	131	100	183	100

※自殺の原因・動機に関して、令和3年までは、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能とした。このため、単純に比較することはできない。割合は計上数に基づき算出(母数割)

※男女問題は、令和4年から交際問題としている。

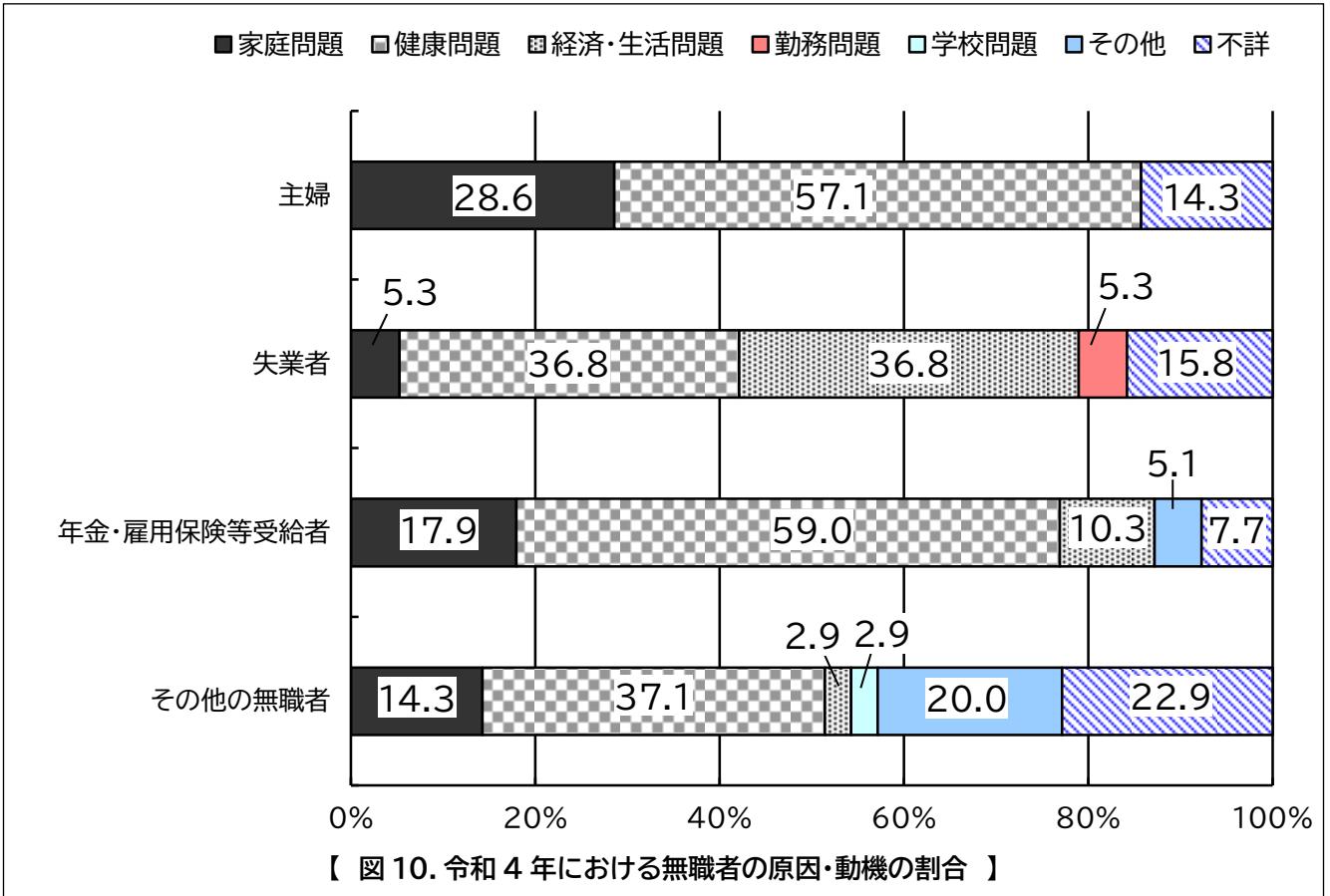
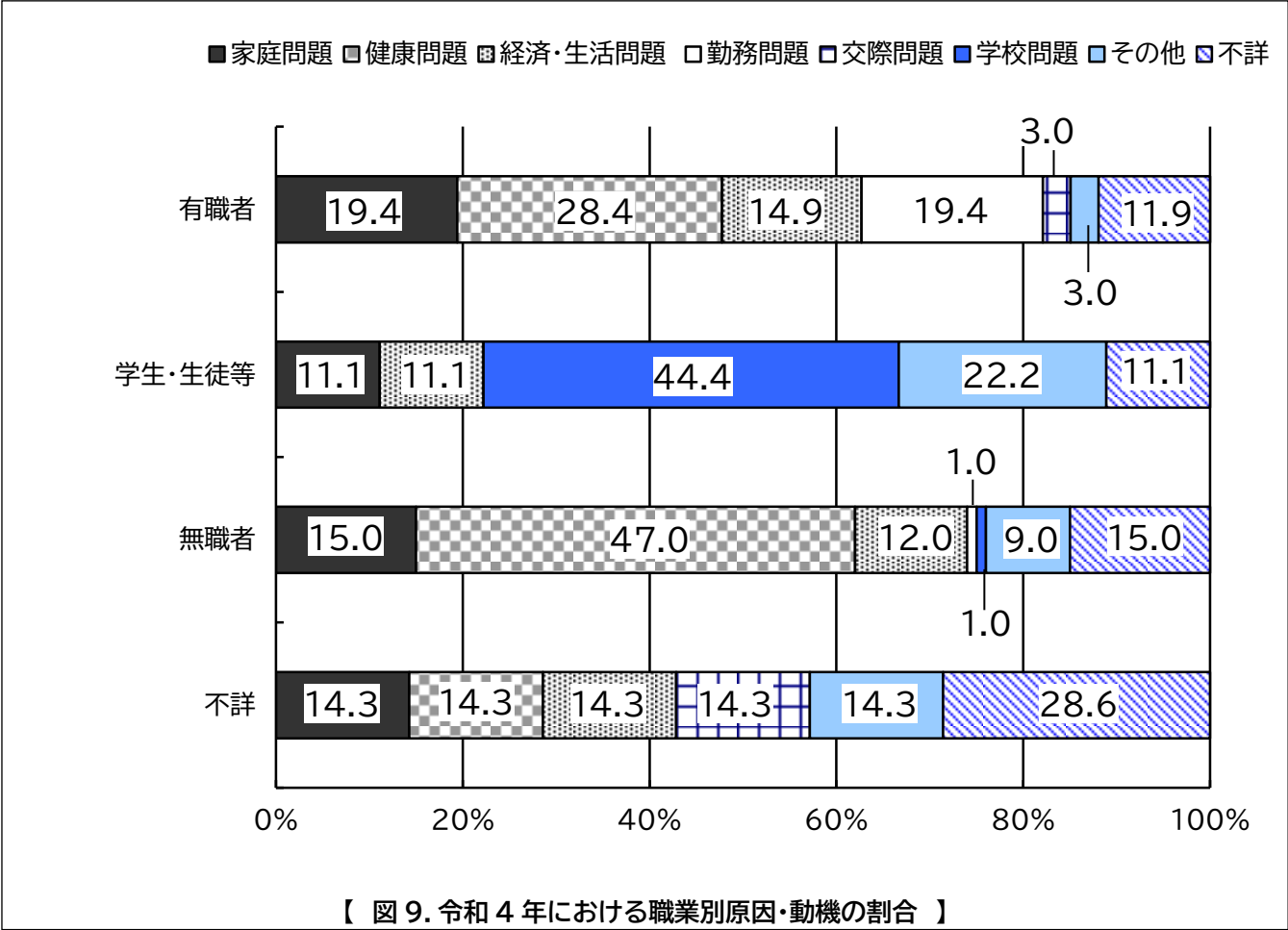




< 表 7. 令和 4 年における年代別の原因・動機順位 >

	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)
10 歳代～ 20 歳代	健康問題	31.4	その他	17.1	家庭問題(同数)	14.3
					学校問題(同数)	14.3
30 歳代	家庭問題	25.0	経済・生活問題(同数)	12.5	/	
			勤務問題(同数)	12.5		
40 歳代	健康問題	27.3	経済・生活問題	18.2	家庭問題	15.2
50 歳代	健康問題	37.0	経済・生活問題	19.6	家庭問題	15.2
60 歳代	健康問題	47.1	経済・生活問題	29.4	家庭問題	11.8
70 歳代	健康問題	57.1	家庭問題	19.0	経済・生活問題(同数)	4.8
					勤務問題(同数)	4.8
					その他(同数)	4.8
80 歳以上	健康問題	60.0	家庭問題	20.0	その他	6.7
全年代	健康問題	36.6	家庭問題	16.4	経済・生活問題	13.1

※「不詳」を除き掲載



< 表 8. 原因・動機の判断材料 >

	平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
遺書	36	42.4	20	27.0	34	27.2	28	26.2	35	24.1
自殺サイト・メール等 書き込み	5	5.9	1	1.4	5	4.0	3	2.8	8	5.5
その他の生前の言 動、家族等の証言	24	28.2	19	25.7	26	20.8	24	22.4	76	52.4
該当なし	20	23.5	34	46.0	60	48.0	52	48.6	26	17.9
総計	85	100	74	100	125	100	107	100	145	100

※原因・動機の判断材料は、複数計上とし、割合は計上数に基づき算出(母数割)

5 自殺未遂歴の状況

令和 4 年の自殺者の 24.8%に自殺未遂歴があり、男女別では、男性が 17.9%、女性が 36.2%であった(表 9)。

< 表 9. 自殺未遂歴の状況 >

		平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年	
		自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
未遂 歴 あり	男性	8	14.0	9	18.0	12	15.2	18	24.7	14	17.9
	女性	7	25.0	6	25.0	12	27.3	10	31.3	17	36.2
	総計	15	17.7	15	20.3	24	19.5	28	26.7	31	24.8
未遂 歴 なし	男性	38	66.7	33	66.0	54	68.4	50	68.5	52	66.7
	女性	16	57.1	15	62.5	26	59.1	20	62.5	25	53.2
	総計	54	63.5	48	64.9	80	65.0	70	66.7	77	61.6
不詳	男性	11	19.3	8	16.0	13	16.5	5	6.8	12	15.4
	女性	5	17.9	3	12.5	6	13.6	2	6.3	5	10.6
	総計	16	18.8	11	14.9	19	15.4	7	6.7	17	13.6